

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	郡上市立石徹白小学校		
実 施 期 間	平成25年10月17日(木)		
実 施 概 要	「三世代交流会」 ○児童による伝統芸能の発表 ・民踊 ・わらべうた ○地域の方に昔の遊びを教えていただいて、一緒に楽しむ。 ・こっけ ・ケンパ ・十六座敷 など		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	8 人	計 18 人
	地 域 関 係 者	10 人	
実 施 状 況	○はじめに、石徹白小学校の児童が学習してきた伝統芸能の中から、民踊の「夜づき」、「粉ひき唄」、「シッコチョイ」とわらべ唄の「正真正月や」を披露した。昔からの伝統的な衣装を身にまとして元気に踊ったり、歌ったりする児童の姿に、保護者や祖父母や地域の方は感激されて、大きな拍手がわき上がった。 ○次に、地域の方から昔の遊びを教えていただき、一緒に楽しんだ。地域のお年寄りの方から、石徹白の昔遊びである「こっけ」、「ケンパ」、「十六座敷」という遊びを教えていただき、保護者と児童がグループを作って、一緒になって遊んで楽しんだ。特に、「十六座敷」では保護者や祖父母、地域のお年寄りの方と児童が対戦し、何度も繰り返し楽しむ姿が見られた。また、予定にはなかった昔遊びを紹介していただいた地域の方もあり、とても和やかな雰囲気の中で交流を進めることができた。		
成 果 及 び 課 題	○児童と地域の方が互いに理解を深めることを目的に、地域にも参加を呼びかけた結果、児童の家族ではない方にも参加していただけた。小学校の児童の様子や教育活動を多くの方に理解していただき、交流を深めることができた ○昔遊びを紹介するコーナーでは、地域の方が中心となって準備を進めていただいたり、参加者を募っていただいたりと、主体的に取り組んでいただくことができた。当日も、全ての参加者が進んで子どもに関わったり、一緒になって活動したりする姿が見られた。 ○日常生活の中ではなかなか小学生と関わる機会がないので、こうした行事はとても有意義でこれからも継続してもらいたいという意見をいただいた。 ●児童が地域への愛着や地域人としての自覚と誇りを高めるために、より多くの方に参加していただけるよう働きかけを充実させていく必要がある。		